2026年11月10日

各 位

上場会社名　株式会社 朝日ラバー
代表者　代表取締役社長 渡邉 陽一郎
（コード番号　5162 ）
問合せ先責任者　執行役員管理本部長 久保田 敬之
（TEL　048-650-6051）

2027年３月期 第２四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2026年８月６日に公表した2027年３月期第２四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値との差異に関してお知らせいたします。

記

１．第２四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異について

2027年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値の差異（2026年4月1日～2026年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	4,064	50	36	106	23円62銭
今回実績(B)	4,193	67	29	91	20円41銭
増減額(B-A)	129	17	△6	△14	
増減率(%)	3.2	34.8	△18.3	△13.4	
(ご参考)前期第2四半期実績(2026年3月期第2四半期)	3,885	122	119	89	19円53銭

差異の理由

第２四半期の連結業績予想について、売上高は工業用ゴム事業及び医療・衛生用ゴム事業ともに売上が増加したことから、前回予想を上回りました。利益指標については、仕入れ価格上昇や新規量産製品の立上げの準備費用、生産体制増強のための設備や要員等に係る費用等で売上原価は増加しましたが、売上高が増加したこと及び販売費および一般管理費が減少したことにより、営業利益は前回予想を上回りました。また、為替差損、支払補償費等の計上により営業外費用が増加したことから、経常利益は前回予想を下回りました。中間純利益は固定資産除却損等の特別損失の計上、税金費用の増加により、前回予想を下回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、為替相場や原材料価格変動等、先行き不透明な状況であることから、現時点での変更はありません。今後修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

（注）上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上